

【資料3】

第2回高幡地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成24年1月25日

第2期計画における高幡地域アクションプランの概要（案）

地域アクションプラン追加・削除予定項目

【高幡地域】

■追加

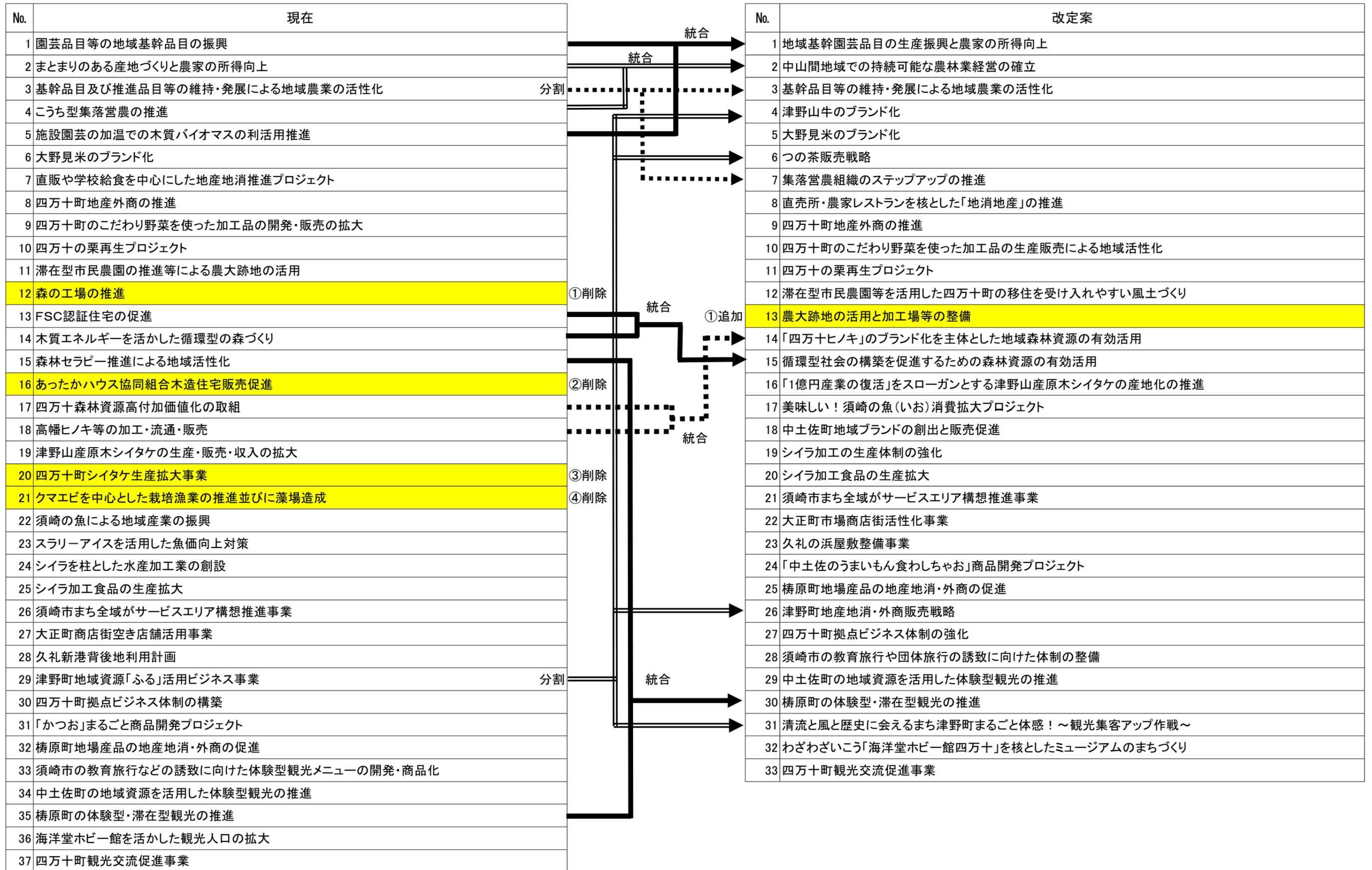
NO.	アクションプラン名	事業概要
1	農大跡地の活用と加工場等の整備 事業主体：四万十町	四万十町内に拠点となる加工場を整備し、町内全体の地域資源を活用した加工商品を開発するとともに、高い品質と数量を確保するなど安定的な供給体制を構築することで、厳しい状況にある農林水産業者の所得の向上及び雇用の創出に繋げる。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	森の工場の推進 事業主体：市町村、事業体、森林組合、林業者など（高幡地域全域）	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。
2	あったかハウス協同組合木造住宅販売促進 事業主体：あったかハウス協同組合	事業実施主体として、当面新たな事業展開が見られず、事業者個々の活動にシフトするため。
3	四万十町シイタケ生産拡大事業 事業主体：四万十町	当面四万十町ブランド化への取組、展開が見込めず、旧3地域（窪川、大正、十和）の活動にシフトするため。
4	クマエビを中心とした栽培漁業の推進並びに藻場造成 事業主体：須崎市	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。

平成24年度 地域アクションプラン・項目（改定案）

【高幡地域】



有望素材シート（24年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十町	素材名	農大跡地の活用と加工場等の整備
		関連素材	No30四万十町拠点ビジネス体制の構築、No3四万十町地産外商の推進

現状・課題	<p><現状></p> <p>四万十町は、山・川・海と多様な地理的条件の中、台地・海沿いの暖地、山間地と農業環境も様々であり、それぞれの地域で、地域特性を活かした農業が営まれており、代表的な農作物としては、水稲をはじめ、ショウガ・シトウなどの露地野菜、ミョウガ・ニラ・花卉などの施設園芸作物、ユズ・クリなどの果樹、茶など様々な作物の生産がある。また、畜産についても窪川地域を中心に、県内トップクラスの飼育頭数を誇る地域である。</p> <p>町内で生産された農畜産物は、生鮮販売が主流となっており市場価格に左右され、担い手の高齢化も進んでおり非常に厳しい状況となっており、こうした状況を改善し、豊富な地元食材を最大限活かして安定した農家所得や新たな雇用につなげていく加工分野への地元の関心や動きが活発化してきている。</p>
	<p><課題></p> <p>地域資源の生産量を踏まえた資源の絞り込みやコストや有効性をふまえた施設規模や機能、事業実施主体等は今後の検討。加工場整備の目的や生産体制の構築、費用対効果等の検証など事業計画書の作成が必要。</p>
今後の方向性	四万十町の基幹産業である農林水産業の振興を図るために、山・川・台地・海の幸、畜産といった地域資源を活用し付加価値を付けた加工品の開発・販売、雇用対策として拠点加工施設を整備し農林水産業者の所得向上及び地域の活性化を目指す

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	農大跡地の活用と加工場等の整備
	関係市町村名	四万十町

事業の概要	<p>地域資源を活用し地域の一次産品に付加価値を付けた加工品の開発・販売、雇用対策として拠点加工施設を整備し農林水産業者の所得の向上及び地域の活性化を目指す。</p> <p>1. 加工場の整備（H26年度整備予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町地域資源活用協議会を設置（地域の代表者（区長・生産者グループ）、J A、道の駅管理者、関係機関で協議 <p>2. 商品開発、加工品の販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をどのように加工し、どこに販売していくか、有効な品目、資源を検討。 ・円滑に施設の管理運営を行うための要件、施設機能、募集にかかる手法等を協議・検討する。 <p>3. 農作物の栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地生姜、施設アスパラガス等の栽培はもとより、加工用農作物の栽培の可能性を含めた検討
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 <p>【関係機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域代表者、J A、町内道の駅管理者、営農支援センター四万十（株）、商工会等
-------	---

取組手順	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
運営体制の構築	運営・管理方法の検討 事業主体の検討		運営管理者の決定 施設整備	機材導入 周辺施設の整備 スタッフ募集、研修	
商品開発及び販路開拓	品目、資源の洗い出し 商品検討	試作、テストマーケティング	商品開発、販路開拓		

指標・目標	項目	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
	【設定根拠】	【推計の考え方】 販売金額及び常勤雇用者数				
		【考え方】				

総事業費等	<p>総事業費 464,997千円 (うち24年度 5,000千円)</p> <p>(内訳 国： 県： 市町村：5,000千円 その他：)</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国：農山村活性化プロジェクト交付金 県：産業振興総合補助金 人的支援：</p> <p>その他：</p>
-------	--

備考	
----	--